

資料提供	
令和6年 4月 17日	
担当課 (担当者)	感染症対策センター (衛生環境研究所) (福田、最首)
電話	0858-35-5411

鳥取県感染症流行情報（速報）

第15週 [ 令和6年4月8日(月)～4月14日(日) ]

<主な定点把握対象感染症>

疾 病 名	東 部	中 部	西 部
インフルエンザ	○	○	○
感染性胃腸炎	○	○	△
水痘（水ぼうそう）	×	◎	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	×	×
手足口病	×	×	×
ヘルパンギーナ（夏かぜ）	×	×	×
咽頭結膜熱	◎	◎	◎
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★
流行性角結膜炎	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×
RSウイルス感染症	△	×	△

★ 警報発令中  
◎ 流行している      ○ やや流行している  
△ 散発                      × 患者発生極少又はなし

<新型コロナウイルス感染症>

地 区	東 部	中 部	西 部	合 計	全国（第14週）
患者数（人）	38	34	45	117	
定点当たり患者数	3.17	5.67	4.09	4.03	4.26
流行情報	—	—	—		

注意レベル： 定点当たり 10 人/週（今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階）  
警戒レベル： 定点当たり 20 人/週（感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階）

【コメント】

- 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。全地区で患者報告数が増加し、中部及び西部地区で流行しています。引き続き注意が必要です。
- 2 咽頭結膜熱は、中部及び西部地区で患者報告数が増加し、全地区で流行しています。
- 3 水痘は、中部地区で患者報告数が急増し、流行しています。注意報レベルを超えており、注意が必要です。
- 4 インフルエンザは、全地区で基準値を下回ったため、インフルエンザ注意報を解除しました。
- 5 新型コロナウイルス感染症は、県全体の患者報告数は減少しましたが、東部地区では増加しています。

- 6 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20 件を目途に報告数が多い疾病）；
- ・インフルエンザ（160 件）
  - ・新型コロナウイルス感染症（117 件）
  - ・感染性胃腸炎（103 件）
  - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（95 件）
  - ・咽頭結膜熱（22 件）
  - ・水痘（6 件）

【お知らせ】

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。
- インフルエンザ注意報を解除しました。

病名	特徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱と咽頭痛、発疹等の症状がみられる細菌による感染症です。まれに重症化することもあり、小児だけでなく成人でも発症します。	・咳エチケットを心がけましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に流行時には手洗いをしっかりしましょう。</li> <li>・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。</li> </ul>
咽頭結膜熱	アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	・感染者との密接な接触は避けましょう（タオルなどは個人用としましょう）。	
水痘	水痘帯状疱疹ウイルスの感染により、水疱（水ぶくれ）、発熱といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	・定期接種等でのワクチンによる予防が有効です。	
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合があります。ご高齢の方、基礎疾患を持つ方は重症化するリスクがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。</li> <li>・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。</li> <li>・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。</li> </ul>	

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること

# 鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第15週 [ 令和6年4月8日(月)～14日(日) ]

(地区別)

令和6年4月17日 作成

(件)

	東 部		中 部		西 部		合 計			県内1定点当		全国1						
	15週	前週比	15週	前週比	15週	前週比	15週	14週	前週比	15週	14週	14週						
インフルエンザ/COVID-19定点数										12		6	11		29			
1	インフルエンザ	47	53%	48	61%	65	64%	160	269	59%	5.52	9.28	5.10					
2	新型コロナウイルス感染症	38	127%	34	89%	45	75%	117	128	91%	4.03	4.41	4.26					
小児科定点数										8		4	7		19			
3	咽頭結膜熱	4	67%	9	225%	9	300%	22	13	169%	1.16	0.68	0.57					
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	109%	25	147%	32	114%	95	80	119%	5.00	4.21	3.06					
5	感染性胃腸炎	54	95%	31	111%	18	82%	103	107	96%	5.42	5.63	3.64					
6	水痘	0	—	6	—	0	—	6	0	—	0.32	0.00	0.12					
7	手足口病	0	—	0	—	0	0%	0	1	0%	0.00	0.05	0.21					
8	伝染性紅斑	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.02					
9	突発性発疹	3	300%	3	—	1	100%	7	2	350%	0.37	0.11	0.23					
10	ヘルパンギーナ	0	—	0	—	0	0%	0	1	0%	0.00	0.05	0.03					
11	流行性耳下腺炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.04					
12	RSウイルス感染症	1	—	0	—	1	100%	2	1	200%	0.11	0.05	1.01					
眼科定点数										2		1	2		5			
13	急性出血性結膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01					
14	流行性角結膜炎	0	0%	0	—	0	—	0	1	0%	0.00	0.20	0.53					
基幹定点数										2		1	2		5			
15	細菌性髄膜炎	1	—	0	—	2	—	3	0	—	0.60	0.00	0.02					
16	無菌性髄膜炎	1	—	0	—	0	—	1	0	—	0.20	0.00	0.02					
17	マイコプラズマ肺炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.09					
18	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.00					
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01					
合 計										187	99%	156	122%	173	109%	516	603	86%

※中部の19の件数は、5の再掲(基幹定点が小児科定点と共通のため)。

## 第15週の感染症発生動向調査情報について

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。全地区で患者報告数が増加し、中部及び西部地区で流行しています。引き続き注意が必要です。
- 咽頭結膜熱は、中部及び西部地区で患者報告数が増加し、全地区で流行しています。
- 水痘は、中部地区で患者報告数が急増し、流行しています。注意報レベルを超えており、注意が必要です。
- インフルエンザは、全地区で基準値を下回ったため、インフルエンザ注意報を解除しました。
- 新型コロナウイルス感染症は、県全体の患者報告数は減少しましたが、東部地区では増加しています。
- 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；
  - ・インフルエンザ（160件）
  - ・新型コロナウイルス感染症（117件）
  - ・感染性胃腸炎（103件）
  - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（95件）
  - ・咽頭結膜熱（22件）
  - ・水痘（6件）